

助け合う心

福祉除雪

今月、**福祉除雪**の利用申し込みの受け付けが始まりました(募集案内は全市版33ページ参照)。福祉除雪の対象は、道路に面する一戸建て住宅に住む、自力で除雪を行うことが困難な高齢の方や障がいのある方の世帯。住民や地域の団体などが、**地域協力員**となり、歩行に支障のない範囲で間口などの除雪を行います。今回は、**地域協力員**として福祉除雪を支える皆さんをご紹介します。



福祉除雪

地域協力員の役割

福祉除雪の現場の担い手である「地域協力員」。地域の住民や団体、企業などが有償ボランティアとして携わり、利用世帯の間口除雪に汗を流します。

区の社会福祉協議会が申し込みを受け、サービスを利用

できる要件を満たしているかなどを調査。十一月中旬に、申し込みした世帯へ決定か非

利用が決定した世帯やその近隣の状況などを考慮しながら、担当する地域協力員を選びます。ひと冬を通して、地域協力員は、その世帯の間口除雪を行うこととなります。

昨年度の利用は、区内で百九十七世帯。これに対し、地

域住民や学校、福祉施設、企業など二百四十八人の地域協力員が除雪に当たりました。地域協力員として、現場で活躍する方々のお話を聞いてみました。

地域協力員

地域の助け合いの心

北野にお住まいの佐藤哲夫さんは、たまたま近隣の方が福祉除雪の対象となり、顔見知りであったことから気軽に地域協力員を引き受けたそうです。仕事が朝早いため、まだ薄暗いうちから除雪に取り掛からなければならないそう



▲地域協力員の経験を語る佐藤さん

ですが「全然苦になりませんよ。むしろ健康にいいくらいです」と明るく話します。福祉除雪に携わってから、地域とのつながりがより深まったとも。「福祉除雪を通して、若い人も含めて地域で助け合う心が育っていくといいですね」と願いを込めて結んでくれました。

福祉施設も

地域協力員として活躍

真栄にある「知的しようがい者通所授産施設ハローENN J O Y I 札幌分場(橋文也施設長)」の利用者の皆さんも、昨年度、五世帯の福祉除雪を担当しました。施設では、二年前から施設のボランティアと契約し、除雪を行っていました。この経験から、「除雪がやれる」という自信が生まれ、地域協力員として参加することになったそうです。

施設を利用する知的障がいのある皆さん十三人が、施設のスタッフとともに除雪に取り組みました。あいさつや励

ましなど、地域の方とのコミュニケーションが、何よりの励みになったようです。スタッフの犬飼浩視さんは「福祉除雪を通して、地域とのかかわりを深く感じることができ、社会参加力を高めるという大きな意義があるんですよ」と話します。複数の世帯を担当すると、除雪をする日は、目が回りそうな忙しきなのが悩みとのことですが、そんな地域とのふれあいが皆さんの大きな力になっているようです。

地域協力員を募集しています

区の社会福祉協議会では、福祉除雪の地域協力員を募集しています。詳しくは左記までお問い合わせください。

清田区社会福祉協議会

☎ (889) 2491